

リボトリール錠 0.5mg リボトリール錠 1mg リボトリール錠 2mg リボトリール細粒 0.1% リボトリール細粒 0.5%

【この薬は？】

販売名	リボトリール 錠 0.5 mg RIVOTRIL Tablet 0.5mg	リボトリール 錠 1mg RIVOTRIL Tablet 1mg	リボトリール 錠 2mg RIVOTRIL Tablet 2mg	リボトリール 細粒 0.1% RIVOTRIL Fine Granule 0.1%	リボトリール 細粒 0.5% RIVOTRIL Fine Granule 0.5%
一般名	クロナゼパム				
含有量	1 錠中			1g 中	
	0.5 mg	1mg	2mg	1mg	5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗てんかん剤で、ベンゾジアゼピン系と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳が興奮している状態をしずめ、てんかん発作を抑えるはたらきがあります。

- ・次の病気の人に処方されます。
 - 小型（運動）発作 [ミオクロニー発作、失立（無動）発作、點頭てんかん（幼児けい縮発作、BNS けいれん等）]
 - 精神運動発作
 - 自律神経発作
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にリボトリール錠またはリボトリール細粒に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・急性狭隅角緑内障の人
 - ・重症筋無力症の人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・心臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人または腎臓に障害のある人
 - ・脳に器質的な障害のある人
 - ・呼吸機能が低下している人
 - ・高齢の人
 - ・衰弱している人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を併用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人または小児の場合]

	初回量	維持量
1 日量	クロナゼパムとして 0.5～1mg	クロナゼパムとして 2～6mg
飲む回数	1 日 1～3 回に分けて飲みます	

[乳児または幼児の場合]

	初回量	維持量
1 日量	体重 1 kgあたり クロナゼパムとして 0.025mg	体重 1 kgあたり クロナゼパムとして 0.1mg
飲む回数	1 日 1～3 回に分けて飲みます	

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

傾眠（ぼんやりする）、錯乱、昏睡（意識がなくなる）、反射性低下（反応が遅くなる）、呼吸抑制（息苦しい、息切れ）、血圧低下などの症状がおこるおそれがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を飲み始めたときに眠気、ふらつきなどの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら医師に相談してください。
- ・この薬を続けて飲んでいる場合に、急に薬を減量したり飲むのを中止したりすると、てんかん発作を繰り返し、なかなか回復しない状態（てんかん重積状態）があらわれることがあります。この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。自分の判断で薬を減量したり飲むのを中止したりせず、医師の指示どおりに飲んでください。
- ・この薬の使用中は、定期的に肝機能検査、腎機能検査、血液検査が行われることがあります。
- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などが低下することがあるので、この薬を使用中は自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響するので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
睡眠中の多呼吸発作 すいみんちゅうのたこきゅうほっさ	呼吸が浅く速い
刺激興奮 しげきこうふん	意識が乱れる、正常な思考ができない
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい
頭部	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐
胸部	息苦しい、息切れ、呼吸が浅く速い、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などをおこす、正常な思考ができない

【この薬の形は？】

販売名	リボトリール錠 0.5 mg	リボトリール錠 1mg	リボトリール錠 2mg
形状	素錠 	素錠（割線入り） 	素錠（割線入り） 
直径	8.0mm	8.0mm	8.0mm
厚さ	2.3mm	2.3mm	2.3mm
重さ	150 mg	150 mg	150 mg
色	白色	白色	うすいだいだい色
識別コード	DU	FT	DV

販売名	リボトリール細粒 0.1%	リボトリール細粒 0.5%
形状	細粒剤	細粒剤
色	白色	うすいだいだい色

【この薬に含まれているのは？】

販売名	リボトリー ル錠 0.5 mg	リボトリー ル錠 1mg	リボトリー ル錠 2mg	リボトリー ル細粒 0.1%	リボトリー ル細粒 0.5%
有効成分	クロナゼパム				
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、タルク、ステアリン酸マグネシウム 以下リボトリール錠 2mg のみ添加 三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄			乳糖水和物、トウモロコシデンプン 以下リボトリール細粒 0.5%のみ添加 黄色 5 号アルミニウムレーキ	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：太陽ファルマ株式会社

(<https://www.taiyo-pharma.co.jp>)

お客様相談室

電話：0120-533-030

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、会社休日を除く）